

しよとうかけんどうぶ うた
初等科剣道部の歌

剣道部OB・佐藤 蕃 作詞
初等科教諭・高川 進作 作曲

一 桜の花の咲き匂う 四谷の空を仰ぎ見る

武道に磨く身と心 竹刀とる手に通う血が

学習院の伝統と 明るい未来作るのだ

われら われら 初等科剣道部

二 ダボスの丘にこだまする 気合いをこめて振りぬいた

千本素振り思い出に 力合わせた合宿で

かたく結んだ友情は 僕の私のためからもの

われら われら 初等科剣道部

三 日ごろの稽古積み上げて 迎えた晴れの初等科祭

剣道形はうつくしく わびくらし出して戦った

試合の後はさわやかに たがいにかわすその笑顔

われら われら 初等科剣道部

四 ねむけも寒さもふりきって しどろ目白の体育館

先輩たちに負けないで みんなががんばる寒稽古

皆勤賞を胸に抱き 家路をたどる誇らしけれ

われら われら 初等科剣道部

学習院初等科剣道部創部四十周年記念（平成十七年（2005）発表）

初等科の敷地は、幕末明治の剣豪の山岡鉄舟の屋敷跡であり、雨天体操場は山岡邸の道場「春風館」の位置であった。昭和十五年に山梨勝之進院長は、春風館と揮毫した額を掲げ、武課の道場とした。昭和四十年（1965）初等科に剣道部を創部した。ダボスの丘は、夏合宿する菅平高原にある。